

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	自然環境課長 齋藤 晃大	電話番号	0852-22-5346
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	県民参加による自然保護活動事業		
目的	(1) 対象	県民や地域の活動団体	
	(2) 意図	地域の自主的な活動により、優れた自然が守られている地域を増やし、多様な生態系を守るとともに、県民参加による調査活動を通して自然保護の重要性を認識してもらう。	
事業概要	希少野生動植物の生息状況等の巡視活動を行うため、県民及び民間団体を巡視員として認定し、連携した取り組みを進める。自然公園等への関心や自然保護意識を高めるため、地元ボランティアが行う施設等の整備活動、普及啓発活動に対し、支援を行う。新しい知識の取得や自然観察・解説技術のレベルアップを図るため、自然観察指導員等に対して、研修を実施する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	希少野生動植物保護巡視員等の認定者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		10.00	15.00	20.00	25.00	
式・定義	希少野生動植物保護巡視員等の認定者数		実績値	10.00	12.00	15.00	20.00		
			達成率		120.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	781	3,777
うち一般財源(千円)	183	2,277

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

8名の個人と、12団体を希少野生動植物巡視員として認定し、指定野生動植物の監視体制が強化された。新任島根県自然保護レンジャー研修（14名参加）、自然観察ガイド研修（14名参加）を実施した。4団体の自然保護ボランティア活動に対して支援を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

これまでの取り組みにより、自然保護巡視員は目標どおりに増加している。また、研修によるボランティアの育成や、ボランティア活動支援により、活動への積極的な参加が行われている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
自然保護ボランティアの担い手の高齢化、指導者の不足
- ②困っている状況が発生している「原因」  
地域の高齢化、少子化により、特に指導的立場のボランティアが高齢化
- ③原因を解消するための「課題」  
多様な主体（学校、企業等）等への働きかけ、自然保護ボランティアの指導者の育成。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県内各地域において希少野生動植物を保全するための取り組みが進められつつあるが、保護活動の担い手の高齢化が今後の課題である。自然保護ボランティアの育成のための研修の実施、広報等による自然保護活動への参加の働きかけなどを実施し、県民と協働した活動をより推進する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状」→「6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状」→「7. まだ残っている課題」→「8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）